



2017年  
9月  
のおススメ講座

いざという時のために定期的な受講を!

### 普通救命講習 (修了証あり)

9月16日(土) 13:00~16:00

講師 松阪市消防本部 講習担当者

参加費 **!!!無料!!!** 定員 20名程度



2017年  
10月  
のおススメ講座

「それ解るよ!」と言われる、自分らしい伝え方が学べる!

### 共感プレゼンテーション講座

~営業・提案・助成金獲得、こうすれば改善!~

10月21日(土) 10:00~12:00

講師 松阪市市民活動センター指定管理者  
NPO法人 Mブリッジ 代表理事 米山 哲司

参加費 一般参加…2,000円 定員 20名程度  
登録団体…**!!!無料!!!**

TEL 0598-26-0108

FAX 0598-25-3803

Mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

センター登録団体は必ず登録番号と団体名をお伝えください。



募集・イベント・事業案内など、本紙に情報掲載ご希望の方は、MailかFAXでご連絡ください。  
締切【2017年9月30日】担当：澤  
次号は2017年10月中旬発行予定です。

## 松阪市市民活動センター

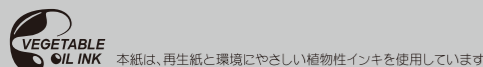
〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 月曜~土曜日/10:00~22:00  
松阪駅下車(JR側)、徒歩5分 カリヨンプラザ駐車場あり 会議室利用時間に限り無料 ラウンジ利用は2時まで無料

TEL 会議室・備品予約専用 0598-25-3801 [問]0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

利用	会議室	機材等
	大会議室…机10 椅子30 (610円) 小会議室1…机4 椅子12 (160円) 小会議室2…机6 椅子18 (210円) 小会議室3…机4 椅子12 (160円) 料金は1時間。大小会議室の組み合わせ可。外会議室…机8 椅子24 (410円)	印刷機(紙持込) / コピー機 マイク / プロジェクター 他 会議室・機材等はセンターに団体登録されることで利用可能です。 利用申込 申請書類は窓口でご記入いただくかお電話にて予約後、ご提出ください。

▼ 松阪市市民活動センターホームページ  
<http://www.katsudou.com>

▼ 市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室予約の確認など)  
<http://matsusaka.genki365.jp>



本紙は、再生紙と環境にやさしい植物性インキを使用しています。



【NPOあっぱれ大賞】年間情報発信スペース

### 子育て応援プロジェクト☆パイン

昨年度のNPOあっぱれ大賞で子育て応援プロジェクト☆パインさんに授与した本紙の年間情報発信の権利として、今年度1年間(6回発行分)このスペースで団体の情報発信を支援します。

### 最近の パイン☆ビッグニュース



子育て応援プロジェクト☆パインの活動をみえの現場「やっぱし」すごいやんかトーク(※)にとりあげていただきました!

(※)すごいやんかトークとは…  
地域で主体的に頑張っている県民を三重県知事が訪ね、活動の現状や今後の展望について対話し、課題を共有する座談会です。

パインは代表の酒井が経験した、周りから協力を得にくい孤立状態で子どもを育てる「孤育て」という課題の解決のために、平成26年に立ち上げた市民活動団体です。当初は「孤育てにしない」子育て支援が中心でしたが、ママが輝ける場所を提供するママ支援もスタート。パインの活動を通じて市内で活躍中のママ8人と三重県知事、松阪市長も同席してこれからの子育てについてお話をさせていただきました。今後もより良い子育て環境になるよう活動を続けていきますので、応援よろしくをお願いします!

詳しくは【みえ すごいやんかトーク】で検索

Mail kosodatepine@gmail.com

Tel 080-1420-6284 (酒井)

日頃の活動はブログをチェック!  
子育て パイン 検索  
<http://ameblo.jp/projectpine>



“子育て”に関心のある人は  
パインさんの活動をチェック!



ちよこつと編集後記…

今年も「NPOあっぱれ大賞」のノミネート団体の募集が始まりますよ! この編集後記の上にある「AROMA年間情報発信の権利」もあっぱれ大賞の賞品のひとつなんですよ~【S】

# AROMA

A Resident Of Matsusaka Activity

(予約専用)  
TEL 0598-25-3801  
0598-26-0108  
FAX 0598-25-3803  
E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

~アロマ~ No.72



今号は… NPO法人 三重補助犬普及協会 さんです

街で見かける補助犬には、実は3種類いることをご存じだろうか。目の不自由な方の歩行を助ける「盲導犬」、身体の不自由な方の生活を助ける「介助犬」、耳の不自由な方に音を知らせる「聴導犬」だ。平成14年に身体障害者補助犬法が制定され、公共交通や施設・飲食店などでは補助犬の同伴の受入れが義務づけられるようになった。その流れを受け、同年、県内でも補助犬の利用促進・普及啓発を目的とした三重補助犬普及協会が設立された。会員は20名。うち11名が補助犬ユーザー、9名が目的に賛同して活動するサポーターだ。年齢は30~80代まで幅広く、活動は県内全域にわたっている。

活 動のメインは、様々なイベントでの啓発活動だ。例えば、盲導犬への知識や理解を深める場合は、アイマスクをして一緒に歩く体験などを行ったり、小学校へ出向き、目の不自由な人が盲導犬とどのように生活しているかを伝えることもある。他にも飲食店・旅館などへ補助犬の同伴入店の理解を働きかけたり、街頭募金等も行う。集めた募金は、補助犬の健康維持や啓発活動に活用されるそう。他にも、補助犬利用者が単独では出かけにくい食事やコンサート、ハイキングなどの外出を楽しむ企画も行っている。



募金活動の様子

副 理事長の内田順朗(うちだ・としお)さんは、自身も盲導犬ユーザーだ。「アイリス(内田さんの盲導犬)のおかげで、散歩などちょっとした外出が気軽にできるようになった」と語る。行動範囲が増えることで気持



副理事長の内田さんと  
盲導犬アイリス(♀6歳)

ちが前向きになり、補助犬を通して様々な交流が生まれることも喜びのひとつだ。法律により社会の関心や理解が進み、昔に比べて補助犬を連れた生活はしやすくなったが、その一方でタクシーや飲食店での受け入れ拒否はまだ多いという。「補助犬は障がい者の身体の一部でペットではありません。厳しい訓練を受けているので社会のマナーも守れますし、毛が飛散ないようにブラッシングなどの手入れもしっかりされています」と内田さんは語る。実際、本紙取材中も内田さんのそばを片時も離れることなく大人しく待っているアイリスの姿が印象的だった。

もし盲導犬を連れた人が困っていたら、ぜひ声をかけてほしい。「補助犬がいるから大丈夫」というのは誤解で、犬では判断できないこともある。危険なときは周りの人のひと言がとても助かるそう。同会では、補助犬ユーザーはもちろん、一緒に活動をしてくれるサポーターも募集している。補助犬について関心を持った方は、ぜひ問い合わせてほしい。

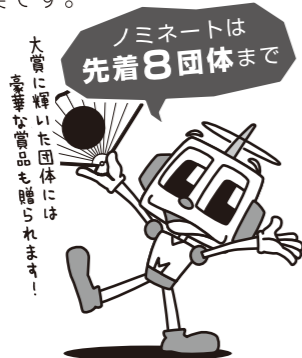
NPO法人 三重補助犬普及協会 事務局  
連絡先 059-222-8419  
<http://www.pasoya.jp/~mie-hojyoken/>

## “あっぱれ”なNPOを応援!

【告知】NPOあっぱれ大賞 2017 公募開始

NPOの人たちの原動力は強い思いですね。だから「褒めてもらいたくて活動してるわけじゃない!」と言われるかもしれません。でも、褒められることの喜びは、活動への励みになるのも事実です。

そこで、頑張るNPOを褒賞して「今後の活動の励みにしてもらいたい!」という思いで取り組むのがNPOあっぱれ大賞です。自薦他薦は問いません。まずはノミネートしてくださいね。



**募集期間** 2017年 9月11日(月)~10月21日(土)

**投票期間** 2017年 11月3日(祝)~11月30日(木)

この期間中に「民郷まつりの会場」及び「松阪市市民活動センター展示スペース」に活動報告パネルを展示し、広く一般からの人気投票を行います。

**団体表彰** 2017年 12月9日(土) 10:30~  
松阪市市民活動センターにて

※その他、詳細は9/11以降に当センターHPに掲載予定です。

## NPOチラシのWeb投票開始

【告知】三重県全域対象 チラ-1グランプリ 2017



三重県内で活動する市民活動団体の自作チラシNo.1を決定するチラワングランプリ。下記日程で公式フェイスブックページ上にて、「いいね!」による人気投票を実施します。皆さまの清き一票をお願いします!

**投票期間** 2017年 9月11日(月)~10月11日(水)

チラ-1グランプリ

お申込み お問合せ reuse-mie@sub.eparts-jp.org

〈主催〉みえ イーパーツ リユースPC寄贈プログラム実行委員会

## 定員を2倍に増席した講座も!

【報告】毎月恒例 当センターのおススメ講座



7月29日、「助成金申請のためのポイント勉強会」を開催しました。講師は当センター指定管理者NPO法人Mブリッジの澤が務めました。当日は住友理工「夢・街・人づくり助成金」の募集要項を例に、事務局の視点を織り交ぜ、助成金申請の際に注意すべきポイントをお伝えしました。申請書類には「読み手(審査のために聞きたい内容)」と「書き手(伝えたい内容)」にズレがある場合も多くあります。それを整えるために、まずは全員が要項を読み解くところからスタート。頭の中のモヤモヤをすっきりと申請書にまとめていくために、活動や事業の情報を棚卸しして、効果的な構成に組立てる実践的なワークも実施。受講者は熱心に取り組んでいました。



8月19日、おススメ講座「プロから学ぶ!チラシ作りのテクニック講座」を開催しました。講師は当センター指定管理者NPO法人Mブリッジの代表理事であり、プロのデザイナーでもある澤が務め、チラシ作りの基本テクニックから応用のコツまで、見る側の視点も交えて細かく解説しました。今回の講座は受付開始直後から反応があり、最終的には定員の2倍の40名のお申込みがありました。参加者からは「2時間があっという間だった」との声をいただき、改めてチラシ作り講座への関心の高さを実感しました。そこで当センターでは11月に「チラシ作りのテクニック講座“リターンズ”」と題して再度、同様の講座を開催します。今回ご参加いただけなかった方、もう一度学びたい方はぜひお申し込みください。

## 10年目の打ち水大作戦決行

【報告】市民活動センター 打ち水大作戦 2017



7月21日、今年で10年目を迎える打ち水大作戦を実施しました。今年は、自治会長の皆さんや松阪市長の他にも、地元和裁教室の皆さんなどにご参加いただき、総勢53名で打ち水することができました。打ち水の開始直前に通り雨に見舞われましたが、その後無事に約100リットルの二次利用水を撒くことができました。打ち水の後は、当センターの会議室で涼んでいただきつつ交流の場も提供しました。打ち水大作戦を継続してきたことで、自治労三重県本部発行の「三重県地方自治研究集」という冊子の「わたしたちのくらしとエネルギー問題について」という項目にも掲載されました。来年もこの時期に打ち水を呼びかけますので、よろしくをお願いします。

## 地域イベントで活躍に期待!

【報告】2017年度 お祭りマイスター認定式



8月4日、今年度のお祭りマイスター認定式を開催しました。お祭りマイスターは当センターの取り組みのひとつで、その名の通り、お祭りなど地域イベントに積極的に参画できるボランティア人材のことです。今年、6月に開催したお祭りマイスター育成ワークショップに参加された人の中から、当センターに個人ボランティア登録をしていただくなど条件を満たした21人に認定証を発行しました。認定式当日は、マイスターのスキルアップを兼ねた交流会を実施。ワークショップで学んだ技術をマイスター同士で教えあうなど、和やかな空気が会場を包みました。

## お祭りマイスターが大活躍!

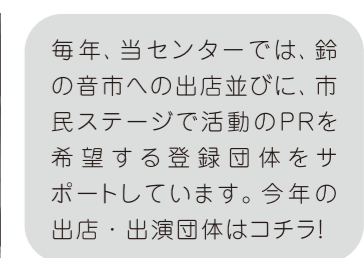
【報告】今年も七夕まつり・鈴の音市 ブース出店



8月5日、松阪中心市街地で毎年開催される「七夕まつり・鈴の音市」にブース出店しました。当センターのブースは、お祭りマイスターによる「チャリティー縁日」を実施。前日のワークショップ交流会でスキルを磨いたお祭りマイスターさん達が、ボランティアで当センターのブースを盛り上げてくれました。毎回大人気の綿菓子や、パルーンアート、“当たりつき”缶バッジガチャガチャなどで得た収益は、この地域の市民活動支援として「NPOあっぱれ大賞」などのセンター事業に活用します。当センターの取り組みにご理解、ご協力いただくことは、地域のNPO支援につながります。今後も応援をよろしくをお願いします。

## 登録団体も鈴の音市でPR出店

【報告】鈴の音市出店補助事業・市民ステージ



毎年、当センターでは、鈴の音市への出店並びに、市民ステージで活動のPRを希望する登録団体をサポートしています。今年の出店・出演団体はコチラ!